

令和6年度当初予算編成方針のポイント

背景・基本的な考え方

- 東京一極集中が継続する中、地方創生に取り組む自治体間の競争が激化し、時代は「地方創生戦国時代」の様相
- 「地方創生戦国時代」を勝ち抜くため、「『徳島新未来創生』政策集」に基づく「異次元の政策」形成を推進
- 財源確保に向け、徹底した既存事業の見直しや「ふるさと納税」をはじめとする歳入確保を推進するとともに、働き方改革の推進により、超過勤務を縮減

「『徳島新未来創生』政策集」の具現化に向けて

- 本県の「安心度」「魅力度」「透明度」向上に向け、「徳島新未来創生プラットフォーム」主導による部局の垣根を越えた施策の構築を推進
- 「政策集具現化重点枠」として、無制限の要求枠を設定

新たな財源確保

徹底した事業見直し

- 成果主義に基づく、前例踏襲にとらわれない徹底した見直しの推進
- 事業費のみならず、業務量(人件費)の節減効果も踏まえた見直しの推進
- 廃止・統合を見据えた特別会計見直しの推進

歳入確保

- 「ふるさと納税戦略チーム」による寄附獲得に向けた取組の推進
- 国庫補助金や各種助成制度の積極的活用
- 新たな歳入確保に対して、歳出要求基準額を上乗せ

働き方改革

- 事務事業の見直しによる超過勤務の縮減
- 継続的に要する管理費等を対象とした枠予算方式の実施
- オンラインヒアリングの実施や資料のペーパーレス化など

要求基準のイメージ

R5年度予算(※)
政策的経費等
(一般財源ベース)
※6月(肉付け)
補正後の現計予算

R5年度予算		R6年度当初予算	
政策的経費		政策集具現化重点枠	
維持補修費 (公共事業における維持補修費を除く)		新たな歳入確保額	
施設管理費		前年度予算80%以内	
一般管理費		前年度予算以内	
		前年度予算以内	
		前年度予算以内	

特別枠の設定

R6年度当初予算
政策的経費等
要求可能額
(一般財源ベース)

「公共事業等」は、
国の動向等を
踏まえ、別途定める

【スケジュール(予定)】

- 庁議、編成方針発表 10月12日(木)
- 要求書締切 11月2日(木)
- 財政課長査定 12月中旬～
- 知事査定 1月中旬頃
- 予算案発表 2月上旬頃

物価高騰の影響による
必要経費は、別途協議

R5年度予算

R6年度当初予算